

井原市立高校 学校運営協議会（コミュニティスクール）について

2023_02_05_総合教育会議

1 学校評議員会から学校運営協議会へ移行

- (1) 令和元年、井原市ひとつづくり事業の協力のもと、井原市立高校「育てたい生徒像」に基づく、「身につけさせたい12の資質能力（非認知能力）」を教員研修の一環として策定（岡山大学准教授中山先生監修）。
- (2) 令和3年、育てたい生徒像を学校の教育活動全体と結びつけるため、具体的な学校経営目標等を教員研修一環として各校内分掌と照らし合わせて作成。
- (3) 令和3年、令和4年度スクールミッション（未来を拓く学びの場）、スクールポリシーを策定、SM・SPの達成に向け、学習指導要領の改訂（平成30年告示・高校は令和4年度から年次移行で実施）の柱である「社会に開かれた教育課程」の実現に伴う、地域社会総掛かりの教育に取り組むため移行した。

2 委員

- (1) 井原市学校運営協議会設置要綱に基づき、本校の生徒・学校の特性等を考慮し、育てたい生徒像を達成するための人選を行った結果、校長を含め①井原市都市計画自治体関係者②保護者代表③ビザビ地方創生担当（地域住民）④地元企業関係者（2名）⑤井原小学校校長⑥地元自治会会長の8名とした。
- (2) 大学教員、教育委員会関係者等は校内研修等で既に年間2回以上連携できているため、委員には含めなかった。
- (3) 地域学校協働活動推進員1名と井原市ひとつづくりコーディネーター1名、井原市ひとつづくり事業関係者にもそれぞれのお立場で全面的にご協力いただいている。

3 校内委員

- (1) 校内委員として、教頭、事務長、4課長、地域連携担当の11名が参画。より多くの教員が参画することにより、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校全体の取組となってきた。

4 生徒の参画

- (1) 委員の方々に市高の現状、生徒の実態等を理解していただき、様々な過去やそれぞれの特性に向きあいながら「自己の未来を拓こう」としている生徒の可能性をより強く感じていただくことができている。また、このことは連携・協力体制の充実につながっている。
- (2) 多くの生徒は、今までの社会体験（多様な価値観・体験）が乏しいため、主体的に学びに向かう力が弱いのが現状である。協議会の場合は、生徒にとって様々な立場の方と意見を交わす絶好の機会であり、貴重な学びの場となっている。

令和5年度 井原市立高等学校 第1回学校運営協議会 参加者

1 学校運営協議会委員（8名）

	氏 名	所 属	組 織
1	岩本 展到	井原市総合政策部 次長	自治体関係者
2	佐藤 勢一郎	株式会社ビザビ コミュニケーション局 地方創生グループ グループマネージャー	地域の住民
3	乗藤 昭範	クリーンサービス・イバラ 代表取締役社長	地元の企業関係者
4	三宅 淳	井原市立井原小学校 校長	地域の小中高等学校教職員
5	目寄 佳枝	本校後援会 会長	在籍する生徒の保護者
6	本井 雅人	Honda Cars 井原 代表取締役社長	地元の企業関係者
7	山田 正人	夏目自治会 会長	地域の住民
8	小林 高樹	井原市立高等学校 校長	対象学校の校長

2 地域学校協働活動推進員（1名）

橋本 恭子

3 井原市ひとづくりコーディネーター（1名）

岡田 清香（井原市地域おこし協力隊）

4 学校関係者（11名）

大山 直恵（教頭） 原田 恒司（事務長） 安部 沙織（教務課長）
 瀧川 弘将（生徒課長） 石倉 志朗（進路課長） 高田 圭子（厚生課長）
 佐野 彩織（地域連携） 三宅 杏奈（地域連携） 原田 康平（地域連携）
 田中 宏人（地域連携） 三原 大明（地域連携）

5 代表生徒（8名）

4年生（2人） 3年生（2人） 2年生（4人）



市高通信

令和 第25号

2023年6月1日 発行

岡山県井原市立高等学校

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1151 番地

TEL: 0866-62-1205

FAX: 0866-62-1233

～2023 年度の井原市立高校～

井原市立高校のキャッチフレーズは、「未来へのかけはし「市高」～君のチャレンジを応援～」です。

「市高通信」は、生徒たちが笑顔いっぱい活動している様子を紹介し、井原市立高校の魅力をお伝えします。

「未来を拓く学びの場」

井原市立高校は、「未来を拓く**学びの場**」として、学力の向上と社会性の育成を図り、それぞれの自己実現を通して地域社会に貢献する学校を目指し、育てたい生徒像として12の資質能力を掲げ、非認知能力の育成に取り組んでいます。昨年度からコミュニティ・スクールとして、自分らしく社会とつながる力を大切に、いろいろな人との関りながら教育活動を行っています。生徒と共に、市高に関わる全ての人の未来を拓く**学びの場**となるよう、今年度も邁進していきます。まずは、生徒と教員の**学び**の様子です。

【昼間部】



【夜間部】



【教員】



岡山県井原市立高等学校 グランドデザイン 未来へのかけはし「市高」～君のチャレンジを応援～

校 訓 「 勤 勉 誠 実 」

学校教育目標 定時制高校としての特徴を活かし、生徒の「未来を拓く学びの場」として、学力の向上と社会性の育成を図り、それぞれの自己実現を通して地域社会に貢献する高校をめざす

育てたい生徒像 「強く やさしく 誠実な 生徒」
生徒や保護者の「新しい学び」への願いを受け止め、それぞれの生徒の夢の実現を支援し、社会人として地域に貢献する人材を育成します

★育てたい12の資質・能力

自分のために 「強さ」

自己肯定感 自分の存在・感情・考えを大切にすることができる	忍耐力 辛いことや苦しいことがあっても、頑張ることができる	回復力 気持ちが滅入ることがあっても、立ち直ることができる	行動力 今の状態を高められるように、意欲的に行動することができる
---	---	---	--

他者のために 「やさしさ」

他者理解 相手の感情や考えを創造的に考えることができる	コミュニケーション力 自分と相手それぞれの意見を尊重し、伝えることができる	協調性 集団に合わせて行動することができる	思いやり 他者のために行動することができる
---------------------------------------	---	---------------------------------	---------------------------------

社会のために 「誠実さ」

規範意識 社会のルールやマナーを守ることができる	使命感 社会の中で果たすべき役割に気づくことができる	責任感 社会の中で果たさなければならない役割に最後まで取り組むことができる	社会性 社会から受け入れられるように行動することができる
------------------------------------	--------------------------------------	---	--

学びの内容と方法

- 少人数であることや、定時制であることの利点を活かし、生徒一人ひとりを大切に育て伸ばす学習指導を実践し、生徒の主体的な学びを支援します
 - 部活動やアルバイト、ボランティア活動などに積極的に取り組むことを推進し、多様な経験を通して学ぶ機会を保障します
 - 地域社会、地域人材との関わりを通して主体性や社会性を育み、自分らしく社会とつながる力の育成を図ります
- ・学校設定教科「かけはし」 ・一人一台端末の活用 ・「非認知能力」の育成
 - ・「レモネードスタンド」開催 ・「服のチカラ」プロジェクト参加 ・クリーン運動
 - ・幼稚園交流 ・「ミナクルネ」参加 ・学校運営協議会参加

市高はチャレンジする君をしっかりとサポートします！



4月11日(火) 入学式

4月11日(火)に、令和5年度入学式を挙行了しました。今年度は昼間部に20名、夜間部に3名を迎え、全校生徒101名となりました。これから「市高ファミリー」として、一緒に頑張らしましょう。



5月2日(火) 新入生歓迎会

5月2日(火)に新入生歓迎会が行われました。昼間部は井原体育館でソフトバレーボールを、夜間



部はフルーツバスケットやバトミントンなどを行い、楽しい時間を過ごしました。

4月12日(水) 対面式・部活動紹介

4月12日(水)に対面式と部活動紹介がありました。昼間部は集会室で、夜間部は第3教室で、それぞれが一堂に会して行いま



した。今年度は全員で行う行事も再開できそうです。いろいろな活動へのチャレンジを期待しています。



5月12日(金) 生徒総会

5月12日(金)に生徒総会がありました。生徒会執行部を中心に、昼間部は集会室で、夜間部は第3教室で行いました。



4月14日(金) 転任式

4月14日(金)に昼夜間合同の転任式があり、お二人の先生方にご出席いただきました。先生方の魅力



にあふれたとても素敵なメッセージをいただきました。今まで本当にありがとうございました。



5月12日(金) 第1回防災LHR

5月12日(金)に第1回防災LHRを行いました。火災が起きたことを想定し、自らの安全を確



保しながら、速やかに避難ができるように、全員で取り組みました。また井原消防署による水消火器を使用した消火訓練も行いました。

5月30日(火) ソトナカ IBARA プロジェクト

昨年度から参加していた「ソトナカ IBARA プロジェクト」で、パンフレットの仕上げ作業を行いました。多くのボランティアの手により素敵



なパンフレットが完成しました。内側には本校生徒のイラストが採用されています。



井原市立高校では、日々の学校の様子や出来事を、学校ホームページの「ブログ」でお伝えしています。ぜひ、ご覧ください。





市高通信

令和 第 26 号

～2023 年度の井原市立高校～

2023年8月1日 発行

岡山県井原市立高等学校

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1151 番地

TEL: 0866-62-1205

FAX: 0866-62-1233

井原市立高校のキャッチフレーズは、「未来へのかけはし「市高」～君のチャレンジを応援～」です。

「市高通信」は、生徒たちが笑顔いっぱい活動している様子を紹介し、井原市立高校の魅力をお伝えします。

「第 1 回 学校運営協議会」

昨年度から本校はコミュニティ・スクールとして、地域との連携・協働による取り組みを進めています。本年度は6月15日(木)に第1回学校運営協議会を実施しました。本校の学校運営協議会は大人だけではなく、生徒も参画するスタイル。今年度も代表生徒と委員の方々と教職員が同じテーブルで思いを語り合いました。今回のテーマは「働くこと」。それぞれが思うことを付箋に書き出しました。残念ながら時間が足りず、不完全燃焼の思いを抱えたまま閉会。生徒からも委員の方からも意見をもっと聞きたい、もっと語りたいたい、ぜひ延長戦を行いたいとの声が上がりました。



「学校運営協議会 延長戦」

第1回学校運営協議会から約1か月。延長戦を行う日がやってきました。今回は、2年生全員が「働くこと」について、アルバイトの経験等を通して不安なことや困ったこと等を、Chromebook を活用してジャムボードに書き出しました。参加して下さった学校運営協議会委員の方々は、高校生の率直な意見を受け止めた上で、地域の大人として、会社の経営者として、思いを語って下さいました。そして放課後は、第1回学校運営協議会に参加した生徒を中心



に、学年を超えて有志生徒が集まり、意見を交わしました。特に、就職試験を間近に控えている4年生の具体的な質問や発言、表情からは、真剣さと一生懸命さがうかがえました。



地域とともに歩む井原市立高校 -6・7月-

6月7日(水)～9日(金)

3年生 修学旅行

3年生が2泊3日の関東方面への修学旅行へ行きました。1日目は班別都内自主研修、2日目はディズニーシー、最終日はカップヌードルミュージアムや横浜中華街散策など、大いに楽しみました。高校時代の大切な思い出ができました。



全国大会出場が決まりました！！

5月から6月にかけて春季大会が行われ、昨年に引き続き、卓球部、ソフトテニス部、陸上競技部、バドミントン部が全国大会への出場権を獲得。県代表として頑張ります。



伊藤教育長を表敬訪問 7/18

6月30日(金) 面接対策講座

4年生が迫ってきた就職・進学試験に向けて、面接対策講座を受講しました。穴吹専門学校から講師をお招きし、実際に集団面接をしていただきました。生徒たちは緊張しながらも、真剣に取り組みました。



【卓球部】

日程：8月7日(月)～10日(木)

会場：駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場

【ソフトテニス部】

日程：8月8日(火)～10日(木)

会場：有明テニスの森公園

【陸上競技部】

日程：8月10日(木)～13日(日)

会場：駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

【バドミントン部】

日程：8月15日(火)～18日(金)

会場：小田原市総合文化体育館「小田原アリーナ」

7月7日(金) 校内生活体験発表会

第60回校内生活体験発表会をアクティブライフ井原で実施しました。昼間部・夜間部合わせて9名の代表生徒が日々の学校生活の中での学びや気づき、アルバイトでの経験から



第60回 校内生活体験発表会
岡山県井原市立高等学校

学んだことを発表しました。緊張の中でも自分の言葉で堂々と語り、成長の軌跡がうかがえました。

7月29日(土) レモネードスタンド

小児がん支援のレモネードスタンドを今年も開催しました。県立井原高による桃の販売や井原中美術部による作品展示、その他にも



新たなコーナーを設け、ご来場の方々に楽しんでいただきました。みなさま、ご協力ありがとうございました。

7月18日(火) クリーン運動

恒例のクリーン運動を行いました。今回は全校(昼間部・夜間部合同)で取り組みまし



た。学年ごとに分担して、1年生はグリーンロード、2年生は井原駅方面歩道、3年生は小田川沿い、4年生は313号線歩道を中心に、清掃活動に励みました。

井原市立高校では、日々の学校の様子や出来事を、学校ホームページの「フログ」でお伝えしています。ぜひ、ご覧ください。





市高通信

令和 第 27 号

2023年10月1日 発行

岡山県井原市立高等学校

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1151 番地

TEL: 0866-62-1205

FAX: 0866-62-1233

～2023 年度の井原市立高校～

井原市立高校のキャッチフレーズは、「未来へのかけはし「市高」～君のチャレンジを応援～」です。

「市高通信」は、生徒たちが笑顔いっぱい活動している様子を紹介し、井原市立高校の魅力をお伝えします。

コミュニティスクール キーワードは「挑戦」

コミュニティスクールとしての歩みを始めて2年目。昨年度の取り組みは、「つながる」「発見!!」のキーワードで紹介しました。今回、紹介するのは新たにチャレンジした取り組みです。

市高生の「挑戦」をご覧ください。

コノヒトカンプロジェクトに「挑戦」

夜間部2年生の生徒が、第2回コノヒトカン1000缶プロジェクト（一般社団法人コノヒトカン主催）高校生社会課題解決アイデアコンテストに挑戦しました。県内12校55チームがエントリーした中から、一次審査を通過したのは、上位20チーム。どのチームも複数名のグループで発表したのに対し、本校生徒は一人でステージに立ち、堂々とプレゼンを行いました。プロジェクト名は「みんなの給食室～おなかいっぱいを当たり前～みんなの給食室プロジェクト」。友人が当たり前のように昼食を食べないことや、駄菓子を昼食の代わりに食べている現状をどうにかしたいと考えた内容です。

審査の結果は「地域の未来デザイン賞」。この賞によりコノヒトカン200缶をいただきました。副賞としてゆめのたねラジオ「この人と…このひと時間」の出演も決まりました。これから、200缶を用いた活動を展開していきます。乞うご期待!!!



絵本の読み聞かせに「挑戦」

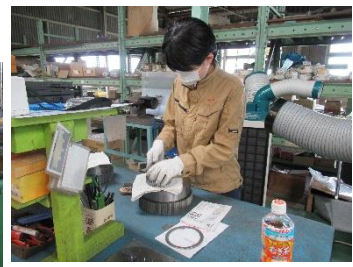
井原小学校で行われた絵本の読み聞かせに挑戦しました。事前にレクチャーを受けて、読み聞かせのポイントを学び、絵本を選んで、練習して当日を迎えました。9月11日(月)の朝、始業前に井原小学校の1年生と2年生の教室を訪問しました。真剣に聞いてくれる児童の皆さんの視線に勇気をいただき、楽しく終えることができました。ありがとうございました。次は11月です。楽しみにしています。





8月22日(火)～24日(木) インターンシップ

3年生が井原市内の計15の事業所でインターンシップを行いました。さまざまな職種の仕事を体験させていただき、働くことの楽しさや苦しさの中にあるやりがいなどを感じることができ、とても貴重な経験となりました。



8月18日(月) 岡山理科大学学生と面接練習

岡山理科大学の学生さんが、夏休み中に行った本校4年生の面接練習に関わってくださいました。大学生からアドバイスを



いただいたり、交流を通して自己を見つめたりすることができました。大学生の皆さんありがとうございました。

9月11日(月) 井原小と陸上練習

陸上部員5名が井原小学校へ赴き、5・6年生の体育の授業と一緒に活動しました。今回は走り幅跳びと走り高飛びを行いました。



9月1日(金) 服の千カラプロジェクトBOX設置

市高で8年目を迎えた活動ですが、今年度は2年生の総合的探究の時間で取り組んでいます。メッセージ等を描いた回収BOXを井原幼稚園や市役所、社会福祉協議会等に設置させていただきました。



9月15日(金) 服の千カラプロジェクトBOX回収

回収期間は2週間でしたが、多くの方の善意をいただき、たくさんの子供服が集まりました。サイズで仕分けして、汚れや破損等がないかを点検し、箱詰め作業を行いました。この後、発送となります。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



9月22日(金) Ancsプログラム

1年生の授業に、おのはなこ商店の小野華子さんをお招きして、Ancsプログラムを行いました。小野さんの前に進み続ける力にまつわるお話を聞き、生徒自身が自己を見つめ直し、自分の良さや10年後の未来について考えました。



井原市立高校では、日々の学校の様子や出来事を、学校ホームページの「ブログ」でお伝えしています。ぜひ、ご覧ください。





市高通信

令和 第28号

2023年12月1日 発行

岡山県井原市立高等学校

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1151 番地

TEL: 0866-62-1205

FAX: 0866-62-1233

～2023 年度の井原市立高校～

井原市立高校のキャッチフレーズは、「未来へのかけはし「市高」～君のチャレンジを応援～」です。

「市高通信」は、生徒たちが笑顔いっぱい活動している様子を紹介し、井原市立高校の魅力をお伝えします。

コミュニティスクール キーワードは「挑戦」

コミュニティスクールとしての歩みを始めて2年目。前号では、今年度新たにチャレンジした取り組みを「挑戦」として紹介しました。その後もさまざまな挑戦は続いています。その中には教員主導の活動から生徒の自主性によるものへと変化を遂げた活動もあります。

「みんなの給食室プロジェクト始動」

第2回コノヒトカン1000缶プロジェクト（一般社団法人コノヒトカン主催）高校生社会課題解決アイデアコンテストで、「地域の未来デザイン賞」を受賞した、その後の活動について紹介します。一人で始めた「みんなの給食室～おなかいっぱいを当たり前～みんなの給食室プロジェクト」ですが、協力者が加わり、放課後を利用して試作を繰り返しました。メニュー開発を行い、校内でみんなの給食室を実施したり、文化祭では活動に関する啓発を行ったり、自分の思いを実行に移す場面が何回もありました。その都度、地域コーディネーターや学校運営協議会の委員の方、地域の方々に助言や協力をいただきながら、自らのアクションで困難を乗り越え、多くの人と出会いつながり、必要な許可や援助を得て実現させています。自走を始めて探究活動の面白さに魅せられ、その他にも様々なコンテスト等に**挑戦**し、さらに活動が広がっています。



「第2回 学校運営協議会」

今回の熟議テーマはボランティア活動についてでした。「自分がしたいボランティア活動ってどのようなもの？」「地域にあったらいいなあと思うボランティアは？」「参加したくなるようなボランティアって？」など、さまざまな角度からボランティアについて考えました。グループごとにそれぞれの思いを伝え、じっくり話し合った今回の学校運営協議会は、お互いを思いやる気持ちに満ちた、あたたかく優しい時間となりました。常に生徒を見守り、伴走してくださる委員の方々に深く感謝いたします。これからも「未来を拓く学びの場」としての市高の**挑戦**は続きます。





第12回 柏桜祭 体育の部 9月29日(金)

「Never give up!! ～チームワークこそが勝利への鍵～」をテーマに井原体育館で開催しました。結果は競技の部では3年生が優勝、ペナントの部では4年生と夜間部がともに最優秀賞でした。充実した楽しい体育祭となりました。



第12回 柏桜祭 文化の部 10月26日(木)

「クラスの絆、高め合おう、心をついに! ～最高に輝ける場所～」をテーマに開催しました。ステージの部は3年生「3年劇団～先生撃退編～」、展示の部は夜間部「スタンプラリー」が最優秀賞となりました。一人ひとりが輝きを放った思い出に残る文化の部となりました。



11月17日(金) 企業人に学ぶ

株式会社クリーンサービス・イバラ 代表取締役 乗藤昭範様を講師としてお招きし、社会人として身につけておくべきマナーや就職に向けての心構え等についてお話をしていただきました。講演の中では、生徒たちが普段の生活の中で大人に対して感じている様々な意見を受け止めていただきました。そして、年齢や立場を越えて普遍的に重要である「あいさつ」「約束を守る」「礼儀」「丁寧な言葉遣い」などのルールやマナーを守ることに丁寧話していただきました。



井原市立高校では、日々の学校の様子や出来事を、学校ホームページの「ブログ」でお伝えしています。ぜひ、ご覧ください。

